

- 問1 19世紀末から20世紀初頭にかけての日本の産業発展について、官営の八幡製鉄所が福岡県に建設された理由として、当時の立地条件や背景を説明したものとして最も適切なものを答えなさい。 (2022年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 利根川などの豊かな水力を利用して、最新式の紡績機械を動かす電力を確保しやすかったため。 | 2. 筑豊炭田から得られる石炭や、中国大陸から輸入する鉄鉱石の利用に便利な場所だったため。 | 3. 広大な軍港が隣接しており、外国から購入した大型戦艦の修理や維持を主目的としたため。 | 4. 周辺で養蚕業が盛んであり、輸出用の高品質な生糸を大量生産するのに適した場所だったため。 |
|--|---|--|--|
- 問2 1904年に始まった日露戦争の時期における日本の財政状況について、開戦前の1903年と開戦後の1905年の統計数値を比較した説明として最も適切なものはどれですか。 (2026年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 軍事費は大幅に増加したが、同時に国民所得も飛躍的に向上したため、国民の税負担率は18パーセントから10パーセントへと低下した。 | 2. 軍事費が1500（単位：千万円）台から7300台へと急増し、国民所得に占める税負担の割合も18パーセントから23パーセントへと上昇した。 | 3. 戦費を賄うために海外からの借金のみを活用したため、国内の軍事支出額は横ばいであり、国民の税負担率に変化は見られなかった。 | 4. 開戦によって軍事費が約2倍に増加したが、政府が減税政策を実施したことにより、国民の税負担率は18パーセントから15パーセントへと改善した。 |
|--|---|---|--|
- 問3 1894年の日清戦争終結から、1904年の日露戦争勃発までの約10年間に、日本国内で起きた出来事として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2022年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|-------------------------------|-----------------------------------|---|
| 1. 25歳以上のすべての男子に選挙権を与える男子普通選挙法が制定された | 2. 官営の八幡製鉄所が操業を開始し、鉄鋼の国産化が進んだ | 3. フランスの技術を導入した官営の富岡製糸場が群馬県に設立された | 4. 日露戦争の権利を引き継ぎ、満州経営の拠点となる南満州鉄道株式会社が設立された |
|--------------------------------------|-------------------------------|-----------------------------------|---|
- 問4 明治時代の日本の産業革命において、外貨獲得の中心的な役割を担った産業と、その主な労働力となった人々についての説明として最も適切なものはどれですか。 (2026年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 製糸業などの軽工業を中心に発展し、農村出身の女性たちが工女として労働力の中心を担った | 2. 綿紡績業などの軽工業を中心に発展したが、労働者のほとんどは武士の娘たちであった | 3. 八幡製鉄所に代表される重工業を中心に発展し、都市部の男性労働者が中心を担った | 4. 造船業などの重工業を中心に発展し、海外から移住してきた女性たちが工女として従事した |
|---|--|---|--|
- 問5 明治時代の産業の発達について述べた文のうち、北九州に建設された八幡製鉄所に関する説明として正しいものはどれですか。 (2020年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 明治初期に設立された官営模範工場で、製糸技術の普及とシルクの輸出拡大に貢献した。 | 2. 第一次世界大戦中の大戦景気を背景に、民間の資本によって設立された日本最大の製鉄所である。 | 3. 日清戦争の賠償金を資金として建設された、鉄鋼生産を担う官営の工場である。 | 4. 幕末から明治にかけて横須賀に建設され、軍艦の製造を主目的とした官営の造船所である。 |
|---|---|---|--|
- 問6 不平等条約の改正における「関税自主権の回復」が達成された時期について、当時の歴史的背景を説明した文として正しいものはどれですか。 (2024年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 第一次世界大戦に勝利し、日本が国際連盟への加盟を果たした直後に達成された。 | 2. 大日本帝国憲法が公布され、近代国家としての体裁を整えた直後に達成された。 | 3. 岩倉使節団が欧米諸国を訪問し、条約改正の予備交渉を行っていた時期に達成された。 | 4. 日露戦争の勝利などを通じて、日本の国際的地位が向上した時期に達成された。 |
|--|---|--|---|
- 問7 明治政府の外相である陸奥宗光が、1894年にイギリスとの間で「日英通商航海条約」を調印したことによって達成された、外交上の大きな成果として最も適切なものはどれですか。 (2019年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---------------------------------------|---|---|
| 1. 輸入品に対して日本政府が自由に税率を決定できる「関税自主権」を完全に回復した。 | 2. 日清戦争に勝利した結果として、遼東半島や台湾などの領土を譲り受けた。 | 3. 日本国内で外国人が犯した罪を、日本の法律と裁判所によって裁けるようになった。 | 4. 欧米諸国に対して、日本が他国に与えた最も有利な条件を自動的に適用する義務を廃止した。 |
|--|---------------------------------------|---|---|
- 問8 1905年にアメリカ大統領セオドア・ルーズベルトの仲介で結ばれた、日露戦争の講和条約であるポーツマス条約の内容として正しいものを次の中から選びなさい。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. ロシアが満州からの全面撤退を約束し、北緯50度以北の樺太を含む全域を日本の領土として認めること | 2. ロシアが旅順・大連の租借権を日本に譲渡することに加え、日本に多額の軍事賠償金を支払うこと | 3. ロシアが清（中国）に対して賠償金を支払うとともに、日本に対して領事裁判権（治外法権）を完全に撤廃すること | 4. ロシアが韓国（大韓帝国）における日本の優越権を認めること、および北緯50度以南の樺太（サハリン）を日本に譲り渡すこと |
|--|---|---|---|
- 問9 1800年から1821年にかけて、伊能忠敬が日本全国を測量して「大日本沿海輿地全図」を作成していた時期は、江戸時代後期の化政文化が栄えた時期と重なります。この文化の時期に成立した作品として、時代背景が異なるためあてはまらないものを次の中から選びなさい。 (2021年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------|-----------------------|---------------------------|-----------------------|
| 1. 十返舎一九による滑稽本「東海道中膝栗毛」 | 2. 福沢諭吉による啓蒙書「学問のすゝめ」 | 3. 滝沢（曲亭）馬琴による読本「南総里見八犬伝」 | 4. 葛飾北斎による風景画「富嶽三十六景」 |
|-------------------------|-----------------------|---------------------------|-----------------------|
- 問10 日本の近代政治の歩みにおいて、1890年の第一回帝国議会が開設される前年に大日本帝国憲法が公布されました。この憲法における天皇の権限と国民の立ち位置について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|-------------------------------------|
| 1. 国民は主権者として、満25歳以上のすべての男女に選挙権が等しく与えられた。 | 2. 天皇が統治権を総攬（そうらん）し、国民は「臣民」として法律の範囲内で権利を認められた。 | 3. 天皇は内閣総理大臣の助言と承認がなければ、一切の国事行為を行うことができなかった。 | 4. 天皇は象徴としての役割を担い、主権は国民にあることが明記された。 |
|--|--|--|-------------------------------------|
- 問11 日清戦争後の1890年代後半から1900年代初頭にかけての日本の産業の変化と、官営八幡製鉄所の役割について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 欧米諸国からの不平等条約の改正を有利に進めるため、外貨獲得を目的とした生糸生産に特化した。 | 2. 賠償金によって重工業の基盤が整えられ、軍備拡張や鉄道建設に必要な鉄鋼の自給率が高まった。 | 3. 日露戦争の勝利を受けて、民間企業が主導して石油精製やプラスチック生産などの化学工業が主流となった。 | 4. 地租改正によって得られた資金をもとに、全国各地に土族授産のための官営工場が乱立した。 |
|--|---|--|---|